



学校便り 藍志 (あいし) 第7号

令和6年(2024年)7月16日(火) 文責: 藍住中学校 三木健司

元 気
やる 気
勇 気
本 気
根 気

●キャリアパスポートの取組(毎月の目標設定と振り返り)をスタートしました。

本年度始めた月ごとのキャリアパスポートによる目標設定と振り返りの6月の集計結果を出しました(裏面に掲載)。このキャリアパスポートの実施方法ですが、毎月、全校生徒に【自分自身の目標】と【対人関係の目標】、そしてそれぞれの目標達成のための【取組内容】を自分で決め、月の終わりに【取組内容】に対する自己評価と振り返りをし、次の月の目標設定につなげます。

目的や方法を簡単に説明すると次のようものになります。(生徒への説明に使ったスライドです。)

<p>1</p> <p>キャリアパスポートの 目標設定</p>	<p>2</p> <p>令和6年度 藍住中学校 学校教育目標</p> <p>表現し、行動する 社会に貢献する人間の育成</p>	<p>3</p> <p>キャリアパスポート (自分自身の目標)と(対人関係の目標)の設定</p> <p>目的 (自己肯定感)と(自己有用感)を高めること</p> <p>※社会に貢献するにはこの2つが必要!!</p>
<p>4</p> <p>自己肯定感 ・自分にはいいところがある ・自分ではできる!!</p> <p>自己有用感 ・自分は誰かの役に立っている ・自分は何かに貢献している</p> <p>➡ 自信</p>	<p>5</p>	<p>6</p> <p>目標設定の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできそうなことを目標に → 継続させるコツ ・具体的な取組内容 → することを明確にする ・取組内容には数値を入れる → できたかどうかを自己評価しやすい ・完璧を目指す必要はない → 気が楽になる ・「結果」よりも「過程」を重視する → 頑張ってもできないこともある → 意識して継続した事実を積み重ねる
<p>7</p> <p>〈例〉</p> <p>「自分自身の目標」・ 苦手教科を10点アップ 得意教科をさらに10点アップ</p> <p>「取組内容」・ 毎日得意教科を中心に90分勉強する 家に帰って30分以内に勉強を始める テスト範囲を3回繰り返し直す</p> <p>「対人関係の目標」・ 家のトイレ掃除をする 同じクラスの子に大きな声であいさつをする</p> <p>「取組内容」・ 3日に1回便所をみがく 1日に10人に目を覚まして「おはよう」</p> <p>※具体的な「時間」「回数」「人数」「点数」など数値が必要!! → 自己評価しやすい</p>	<p>8</p> <p>習慣化(ルーティーン化) が必要</p>	<p>9</p> <p>ルーティーン化させると・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しなかった自分がイヤになる(気持ち悪くなる) ・次の月は少しレベルを上げてみる。 <p>ルーティーン化できなかったら・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の月は少しレベルを下げてみる ・自分で決めたことを意識し続けることが大切!!

10

**自分自身と向き合って
考えてみよう!!**

この取組の目的は、将来、社会に貢献できる人間になるために、生徒自身で考えた【自分自身の目標】を達成することにより『自己肯定感』を、【対人関係の目標】を達成することにより『自己有用感』を向上させ、生徒に自信をつけさせることにあります。

自分で考えて決めることが大切なので、【目標】も【取組内容】もどんなものでもかまいません。ただし、目標を達成するために行う【取組内容】は、何をするか数値(回数とか時間とか人数など)を入れて具体的に決めることがポイントになってきます。曖昧な【取組内容】だとすぐに意識できなくなってしまうし、月末の振り返り時に評価の基準がわかりにくくなります。

始めたばかりですので、生徒はまだまだコツをつかめていないのですが、繰り返していくうちに、できるようになると考えています。

さて、始めたばかりの6月の振り返り結果を裏面に掲載しています。

【6月の目標設定と振り返り】集計結果（第1～3学年まとめ）

		自分自身の目標					対人関係の目標					
		取組内容の自己評価					取組内容の自己評価					
		A	B	C	D	無回答	A	B	C	D	無回答	
6月	人数	101	168	103	14	56	167	150	58	13	54	
	実施数	442	442	442	442	442	442	442	442	442	442	
	%	13.9%	40.3%	28.5%	2.8%	14.6%	32.6%	31.9%	18.1%	3.5%	13.9%	
	分類	できた			できなかった		無回答	できた		できなかった		無回答
	%	54.2%			31.3%		14.6%	64.6%		21.5%		13.9%

全校生徒の【自分自身の目標】に対する結果は次のとおりです。

- ・「できた」（「A よくできた」「B まあまあできた」の合算値）は54.2%です。
- ・「できなかった」（「C あまりできなかった」「D できなかった」の合算値）は31.3%です。

全校生徒の【対人関係の目標】に対する結果は次のとおりです。

- ・「できた」（「A よくできた」「B まあまあできた」の合算値）は64.6%です。
- ・「できなかった」（「C あまりできなかった」「D できなかった」の合算値）は21.5%です。

無回答の生徒数が多いのは、まだまだ要領を得ていなくて、振り返り記号A～Dに○をつけることができなかつた生徒が多かつたことが原因です。慣れていくうちに無回答の生徒は少なくなってくるだろうと予想しています。

さて、まだまだどちらの「できた」の数値も高くはないのですが、【自分自身の目標】（54.2%）より【対人関係の目標】（64.6%）の数値が約10%高くなっています。さらに言うなら、自己評価「A」に着目すると、【自分自身の目標】の「A」が13.9%、【対人関係の目標】の「A」は32.6%となっており、その差は約20%になっています。【自分自身の目標】の達成度はあまり高くない…むしろ低いと感じます。このことから、藍住中学校の生徒は、自分自身のことよりも、友人や仲間、家族などの人間関係を大事にできる生徒が多いと考えることができます。これが本校の特徴であると言えるのではないのでしょうか。

課題としては3点考えます。

- ①自分自身を伸ばすための努力をもっともっと意識すること。
- ②自分で考えた目標に対して「できた!!」と思っている人数が少ないこと。
- ③取組を続け、慣れてくる中で、自分で決めたことに対して意識が続くようにしていくこと。

学校を離れての生活が始まる夏休みこそ、目標を達成するために意識を高く持ち続けてほしいと思います。夏休み前に決める【自分自身の目標】と【対人関係の目標】、そしてそれぞれの【取組内容】を忘れないように、「頑張る夏休み」にしてもらいたいと思っています。